

基地対策特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：川下 勉
副委員長：稲垣 清也
委員：南出 貞子、中谷 喜英、林 直史、山口 忠志

2. 調査目的

基地対策に関する調査研究

3. 調査期間

令和6年9月25日～令和7年9月3日

4. 委員会等開催状況

	委員会	現地視察
令和6年	0回	1回
令和7年	1回	0回
合計	1回	1回



▲現地視察（基地概要説明）

5. 委員会

当局から、令和7年度防衛省補助事業について報告を受け、協議を行った。

6. 現地視察

令和6年12月19日に加賀市基地周辺整備協議会と合同で航空自衛隊小松基地の視察を行った。基地概要について説明を受け、実際に管制室や航空機F-15J、厚生センター等を見学した後、基地司令を表敬した。

視察したことで、航空自衛隊小松基地の役割を再確認することができた。

7. 調査の結果

基地周辺自治体として、さらなる基地対策の充実に向け、当局や加賀市基地周辺整備協議会などと連携しながら、令和7年4月から配備が開始されたF-35Aによる騒音の変化やそれに伴う基地周辺住民に対する生活環境対策など、基地を取り巻く動向を注視し、安心・安全な市民生活の確保が図られるよう、今後も継続して調査・研究していく必要があると考える。

また、令和8年度までの時限措置とされている再編関連訓練移転等交付金に関しても、今後とも在日米軍再編に係る訓練移転の実施が想定されることから、住民の福祉と生活環境の改善を図るため、再編関連訓練移転等交付金の延長や新たな交付金制度の創設などに関する要望を、在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村議会連絡協議会などを通じて、継続して行っていく必要があると考える。